宝町CASBEE.xlsx スコア

CASBEE 広島 2016年版 *(仮称)エールヴィータ宝町* ■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0) 実施設計段階 スコアシート 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 全体 評価点 評価点 係数 係数 建築物の環境品質 3.2 Q1 室内環境 0.40 3.4 1 音環境 3.0 0.15 3.4 1.00 3.3 1.1 室内騒音レベル 3.0 3.0 0.50 0.50 1.2 遮音 3.0 0.50 3.8 0.50 開口部遮音性能 T-2サッシを採用している 3.0 1.00 5.0 0.30 界壁遮音性能 0.30 2 3.0 3.0 遮音直貼りフローリング採用 3 界床遮音性能(軽量衝擊源) 3.0 4.0 0.20 界床遮音性能(重量衝擊源) 3.0 3.0 0.20 1.3 吸音 3.0 0.35 1.00 4.3 2 温熱環境 2.0 5.0 2.1 室温制御 3.0 0.50 5.0 1.00 1 室温 3.0 0.63 断熱性能に配慮している 外皮性能 2 0.38 5.0 1.00 3.0 ゾーン別制御性 3 2.2 湿度制御 0.20 0.30 2.3 空調方式 1.0 2.0 0.25 2.5 1.00 2.3 3 光·視環境 3.1 昼光利用 1.8 0.30 3.6 0.35 昼光率 方位別開口 0.60 0.50 1 1.0 3.0 建物が東向きで南面にも窓を設置 2 5.0 0.30 3 昼光利用設備 3.0 0.40 3.0 0.20 3.2 グレア対策 1 昼光制御 1.0 0.30 1.0 0.35 1.0 1.0 1.00 1.00 3.3 照度 3.0 0.15 3.4 照明制御 3.0 0.25 0.29 4 空気質環境 3.6 0.25 3.3 1.00 3.4 4.1 発生源対策 4.0 0.60 4.0 0.63 化学汚染物質 仕上材は接着剤等も含めF☆☆☆☆ 1 4.0 1.00 4.0 1.00 4.2 換気 3.0 0.40 2.3 0.38 1 換気量 3.0 0.50 3.0 0.33 2 自然換気性能 1.0 0.33 3.0 3 取り入れ外気への配慮 0.50 3.0 0.33 4.3 運用管理 1 CO₂の監視 2 喫煙の制御 Q2 サービス性能 0.30 3.4 1機能性 3.0 0.40 4.2 1.00 3.9 1.1 機能性・使いやすさ 3.0 0.40 5.0 0.60 広さ・収納性 高度情報通信設備対応 ブロードバンド対応インターネット設置 2 5.0 1.00 3 バリアフリー計画 3.0 1.00 1.2 心理性·快適性 3.0 0.30 3.0 0.40 1 広さ感・景観 3.0 0.50 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 3.0 1.00 3.0 0.50 1.3 維持管理 3.0 0.30 1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 0.50 3.0 3.0 0.50 2 耐用性・信頼性 3.0 0.30 3.0 2.1 耐震·免震·制震·制振 3.0 0.50 耐震性(建物のこわれにくさ) 1 3.0 0.80 2 免震·制震·制振性能 3.0 0.20 2.2 部品・部材の耐用年数 3.0 0.30 躯体材料の耐用年数 0.20 1 3.0 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 3.0 0.20 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0 0.10 3 空調換気ダクトの更新必要間隔 4 3.0 0.10 空調・給排水配管の更新必要間隔 5 3.0 0.20 主要設備機器の更新必要間隔 3.0 0.20 6 2.4 信頼性 3.0 0.20 空調·換気設備 1 3.0 0.20 2 給排水·衛生設備 3.0 0.20 3 電気設備 3.0 0.20 機械·配管支持方法 4 3.0 0.20 5 通信•情報設備 3.0 0.20

宝町CASBEE.xlsx スコア

2	하다	生更新	杜		3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
ا		<u>エ 史 제</u> 空間σ			3.0	0.30	3.6	0.50	3.2
	0.1		階高のゆとり	階高を2,900mm以上としている	3.0	_	4.0	0.60	
			空間の形状・自由さ	FINE CHARACTER CO. C.	3.0	_	3.0	0.40	
	2.2	荷重の			3.0		3.0	0.50	
			更新性		3.0	1.00	3.0	0.50	
	3.3		空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
			全調配官の更新性 給排水管の更新性					-	
					3.0	0.20 0.10		-	
			電気配線の更新性		3.0			-	
			通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
			設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
			バックアップスペースの確保		3.0	0.20	•	-	
			收地内) 		_	0.30	-	-	2.7
			保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
			関への配慮		3.0	0.40	٠	-	3.0
3			ニティへの配慮		3.0	0.30	•	-	3.0
			への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	•	-	
			温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
			環境負荷低減性			-		-	3.7
		レギー				0.40	-	-	4.4
1	建物タ	小皮の	热負荷抑制	省エネ等級5取得	5.0	0.20	•	-	5.0
2	自然コ	Cネルキ	一利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備シ	ノステム	の高効率化	[BEI][BEIm]: 0.76	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的	内運用			3.0	0.20	-	-	3.0
			宅以外の評価		•	-		-	
			モニタリング		3.0	-		-	
			運用管理体制		3.0	_	-	-	
			宅の評価		3.0	1.00		_	
			モニタリング		3.0	0.50		_	
			運用管理体制		3.0	0.50		_	
I P2	咨语.	・マテリ			J.0	0.30	-	_	3.0
	水資源		7 70		3.0	0.30	-	-	3.0
1 '		節水			3.0	0.20			3.0
			用・雑排水等の利用		3.0	0.40		-	
	1.2							-	
			雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	Ť	-	
	4		雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	2.0
2			原の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2
			用量の削減		3.0	0.11		-	
			登築躯体等の継続使用 (4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1		3.0	0.22		-	
			大料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
			料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
			「能な森林から産出された木材	毎は1月1パサナウローハルフートパーンフ	1 :	-	-	-	
)再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材を容易に分けることができる	4.0	0.22	-	-	
3			有材料の使用回避		2.6	0.20	•	-	2.6
			質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2		・ハロンの回避		2.5	0.70	-	-	
			消火剤		-	-	•	-	
			発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50		-	
			冷媒		3.0	0.50	•	-	
LR3	敷地	外環境			_	0.30	-	-	3.7
_1	地球温	温暖化/	への配慮	ライフサイクルCO2を低減する材料などを採用	4.9	0.33	-	-	4.9
2	地域到	環境へ(の配慮		2.9	0.33	•	-	2.9
	2.1	大気汚	染防止		3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環	環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域イ	ンフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
			汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
			交通負荷抑制	渋滞を招かない駐車方式を採用	4.0	0.25		-	
			廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3	周辺型	景境への			3.2	0.33	-	-	3.2
ا			振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
			騒音		3.0	1.00		_	
		2	振動		-	-		_	
			悪臭		_	_		_	
	3.2		砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	_		
	3.2		風害の抑制		3.0	0.40			
			砂塵の抑制		1.0	-			
			日照阻害の抑制			0.30			
	0.0				3.0 4.4	0.30	-	-	
	3.3	光害σ		光害対策ガイドラインの過半をクリア				-	
		1	屋外照明及び屋内照明のつら外に漏れる光への対策 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	20日の水ルコーフコンの過千でノリ	5.0	0.70		-	
		2	宝元の2世初77至による区別元(グレア)への対策		3.0	0.30		-	